

令和3年度第3回神戸市子ども・子育て会議「教育・保育部会」および  
第1回神戸市市民福祉調査委員会 児童福祉専門分科会「保育所等認可部会」

(合同会議) 議事要旨

日時：令和3年2月14日(月) 15:00~16:30

場所：神戸市役所1号館7階・オンライン

1. 開会

2. 議事

(1) 部会長の選任について(保育所等認可部会)

- ・委員の互選により日浦委員を保育所等認可部会部会長に選出

(2) 幼児教育の理解の推進について

●事務局

資料2により説明(省略)

○委員

- ・ママフレのWebページのどこからアクセスできるのか。今はないが、新しい枠ができるのか。

●事務局

- ・先ほどご覧いただいたページテストページでまだ一般には公開をしていないもので、现阶段ではママフレの中で見ることができない状況。

○委員

- ・わかった。(ママフレのトップページには)今、いろんなカテゴリーがあるが、ここに新しく何か項目ができるという認識でよいか。

●事務局

- ・具体的には、ママフレのトップページの下の方に「子育てママへお勧め 神戸市からのお知らせ」というアイコンから入っていただくことを想定している。

○委員

- ・わかった。ちょっとわかりにくいかなと思うが、その辺はまたちょっと調整していただきたい。

- ・実際に遊んでいる子どもさんたちの姿を通じて説明していただくので、保護者の方もイメージしやすいと思う。ただ、個人的な意見だが、とっともすてきな幼稚園とか保育園さんばかりなので、どこどこの幼稚園とか名前が出てしまうと、先入観が出てしまふかなと思うので、施設名は伏せられたほうがいいのかと思う。あれだけのことをできる環境があるところは少ないと思うので、もうちょっと一般的な遊びのシーンも付け加えてもらえるとよいのかなと。

●事務局

- ・施設名に関しては、動画の冒頭で施設の職員の方に出ていただくこともあり、いまのところは、冒頭でのみ施設名を出している。

○委員

- ・わかった。これを通じて、園の選択の偏りとかにならないようにしたほうがいいのかと思った。

○委員

- ・一般的なのというか、よく見るような園庭を映したような、そういう外の遊びも映してほしい、そこで育ち合う姿がわかれば嬉しい、というようなご意見だった。

●事務局

- ・ページの立ち上げの段階では4園のご紹介だが、今後また順次追加も考えていきたいと思っている。その中でまた委員からいただいたご意見も踏まえて、考えていきたい。
- ・また、先程の私の説明を補足をさせていただくが、ママフレのトップページの頭のほうにあるバナーに、このページの立ち上げ当初は特別なバナーを付け、皆様の目に入りやすいような工夫をさせていただきたい。

○委員

- ・自由遊びと設定遊びがバランスよく取り上げられていくとよい。
- ・「遊び」に意味づけをするということを通して、「家庭でこんなことずっといつもしてるけど、これってこういう意味があるんだなあ」と保護者が参考にできるというようなナレーションの付け方があってもよいと感じた。
- ・動画で解説を付けながら流すことによって、保護者の方も、「遊び」というものに対する理解が本当に深まるんじゃないかと感じた。

○委員

- ・「遊び」といっても、いろいろ園で行っているものがあるし、年齢によってもまた違う。

また、個の育ちがわかりやすいものと、集団でやることの意味がわかりやすいものとか、いろいろある。事務局に考えていただいたものを土台にして、皆様方のご意見をちょうだいしながら、どれが適切かという議論が深まればよいと思う。

●事務局

- ・保護者の方がご家庭での参考になるようなナレーションというのは、非常に有意義かと思う。今後、できるかどうか検討していきたい。

○委員

- ・私の園では、ずばり「食育」ということを、特に今年はずっと1学期からしている。幼稚園で1号の子どもが多いので、3歳になって入園してくると、偏食が進んでいる子どももいる。1歳から入ってくる子は、離乳食が終わってすぐなので、そんなに偏食はなく、園の給食で好き嫌いなくいける。
- ・家庭に長くいればいるほど大丈夫かという状況に最近では陥っているのかなと思う。また、親御さんが、偏食に対して問題意識を持っておられない。特に今年は偏食の子が多かったので、1学期から、いろんな形でお野菜やいろんな食材に実際に触れたり、育てたりしている。
- ・動画にできていたのは給食の食材から出た「へた」とか、皮とかを使って全園で取り組んだもの。子どもたちは、本来は捨ててしまう「へた」を使って自由に自分たちで自主的に工夫して、材料を選んで制作に取り組んでいるもので、お家でもできる活動かと思います。へたは毎日のお料理で出るだろうし、あとはボンドとか紙ぐらいがあればできるので、そういうナレーションを入れたいと思っている。「お家でも親子で楽しんでください」というようなことと、「食べられなくても、いろんな食材に触れてるうちに口に入れられるようになるかもしれませんね。無理強いはいけませんけれども。」というようなやんわりしたナレーションは付けたいなと思っている。
- ・自然豊かな園庭で遊んでいる動画についても、土日に山や野原に行くということもあるので、ご家庭でも参考にできると思う。

○委員

- ・特に食育のこと、園に預けてたらそれでいいということではなくて、就学前の教育・保育において、保護者との連携は非常に大切。食育などは特にそう。

○委員

- ・1個目の動画を見て、家でもやってるような遊びにはこういう意味があったんだって思

った。ちゃんと家で遊んでることも子どもの成長につながってるんだというのが確認できたのでよかった。

- ・その点でいくと、2個目と3個目の動画は、保護者にとって少しハードルが上がる。こっちが用事しながらでも見れることではない。でも、やっぱりそういうことって大事な、子どもと料理するのもいいことなんだな、やっぱりそういう機会を増やしていかないといけないと感じた。
- ・この幼児教育の理解の推進のページが何を目的にこれつくっているのか、ちょっとわかりにくいかなと思った。家庭での保育ではこういうことを重視してやってくださいよと言いたいのか、保育園ではこういうことを重視してやっていますということを言いたいのかはっきりさせないと、その動画を見たときにちょっとハードルが上がってしまうかなって思った。

#### ●事務局

- ・もともとは後者の、園でどういったことをやっているかというところの発信ということでつくらせていただいたページだが、本日、ご家庭でもいろいろ参考になるのではという、ご意見もいただいたので、発信方法については、少し検討していきたいと思う。

#### ○委員

- ・もともとは就学前の学びというのはどういうことかということをしつかりと伝えていこうというのが目的。おそらく日本で神戸だけだと思うが、「幼児教育の理解の推進」を計画に位置づけた。就学前の乳幼児期の学びを正しく理解していただくというのが、そもそもの目的になる。
- ・ご家庭での参考としてという意味では、この活動の教育的な意味は何なのかとかいうようなこととか、子どものこんな姿に意味があるんですよというようなことを伝えていくことによって、例えば「家でもそうだな」とか、熱中とか没頭しているときというのは、簡単に言えば、一番頭がよくなっている瞬間なので、「邪魔をしてはいけませんよ」とかいうことにつながっていけばなと思っている。
- ・たまたま、一番話が早いということで、委員の園が最初に取り上げられているが、これからいろんな園が出てくるということでご理解いただければ。

#### ○委員

- ・テストページには、子どもたちが遊ぶことに意味があるということは文字で書いてあるが、それが具体的にどういうことかを補足するために動画を用意しているというのが

本来の目的。きょうの議論の中で、それを見る保護者が、そういう意味があるならことなら、家で「遊んでばかりいないで」とかいうように言わないようになるとか、そこに学びがあるということをお願いしたり、あるいは園の保育に協力していただけるような、ご理解いただけるような、そういう補足的な意味合いもあるということだと思う。

●事務局

- ・いただいたご意見を少し反映させていただき、まずは年度内にホームページの立ち上げをしていきたい。また、立ち上げ後もさまざまなご意見を部会等の場を通じていただければと思う。

(3) 幼保連携型認定こども園、保育所、家庭的保育事業等の認可  
及び利用定員の設定について（非公開）

(4) その他意見交換

○委員

- ・保育園・幼稚園の団体としては、いつまで施設をつくるのかというようなことを、前から申し上げてきた。今後、どんどん子どもたちが減っていくので、親御さんが勤務に行くのに便利な所は定員が減らないけれども、ちょっと駅から離れているとか、不便な場所であるとかいう所が、これから定員が利用定員よりもっともっと下がっていくのではないかと危惧している。
- ・神戸で子どもを産み育てる施策というのをもっと具体的に、いろんな担当局も含めて、考えていただきたい。
- ・また、せっかく幼稚園から幼保連携になると言っているのに、神戸市との協議で利用定員を最低基準しか認めてもらえないとなったら、認定こども園になりたいという園が出てこない。待機児童がいない地域は、2号・3号の子どもは、最低基準の10人までしか認めてもらえないということか。

●事務局

- ・今、事業計画の中で、上限を規定をしている。事業計画については令和4年度にも見直

す方向である。事業計画の見直しの中で、皆さんとともに議論をしていって、いい方向に持って行きたい。キーワードは、公立も含めて、既存の施設の最適配置と考えている。

○委員

- ・最適配置ということは、市で全部采配するという事ともとれるが。

○委員

- ・やはり地域によっては需給バランスが崩れているところがある。それから、もう一つは、潮目が変わりつつあるのではないかということ。もともとこの今の事業計画は、コロナ前に策定されたものだが、思っていた以上に少なくなっている。令和7年度から新しい計画ということで、令和5年には恐らくアンケート、ニーズ調査などを始めることになるかと思うが、少し早めに事業計画について議論していったほうがいいのではないか。
- ・また、園舎そのものが、かなり老朽化をしている園が、だんだん増えてきている。実は介護の施設も、障害福祉の施設も、再生の補助金はない。保育の関係で、ただ一つだけあるのは、定員を上げるという条件のもとでだけその再生の補助金が出ている。これから恐らく定員を上げて改築ができるような園がないという状況の中で、国全体としても当然考えていただかなければいけないが、神戸市においても、少し再生についても議論をいただければと思う。

●事務局

- ・本当に保育ニーズが大きく変わろうとしている時期に来ている。事業計画については、来年度、今後のニーズというものをしっかりと精査をして、検証・見直しをしていく必要があると思っている。
- ・こちらの教育・保育部会、あるいは子ども・子育て会議のほうでもしっかりと議論していき、これからの保育ニーズに対して、既存施設の活用を基本として、既存施設の適正配置といったことをしっかりと議論をさせていただきたいと思っている。
- ・また、既存施設をどう活用していくかということについても、非常に重要な課題であると認識している。来年度の予算になるが、改築の建築費の一部について、新しい補助制度を考えていきたいと思っている。